



沼田町開拓一三〇年



Numata

20世紀を目前にした1894年(明治27年)、未墾の地に振り下ろした最初のひと鍬。
大正、昭和、平成、そして令和と幾千幾万の人々が130年の歳月を積み重ねたいま
先達への感謝の想いを胸に、沼田っ子が奏でる元気な声は新しい未来へ向かって——。

祝 沼田町開拓130年記念式典





「夜高あんどん」 神保 吉数 (第25回明日萌の里フォトコンテスト 優秀賞作品)



「夜明け」 池端 清美
(第25回明日萌の里フォトコンテストありがとう留萌本線部門 優秀賞作品)



「豪雪」 宮田 朝暉
(第26回明日萌の里フォトコンテストありがとう留萌本線部門 優秀賞作品)



「朝靄明けて草萌ゆる」 眞鍋 真弓
(第26回明日萌の里フォトコンテスト 入選作品)



「田んぼに夕映え」 得能 邦子
(第26回明日萌の里フォトコンテスト 入選作品)



「夕陽をついばむ北帰行」 木村 美紀枝 (第26回明日萌の里フォトコンテスト 最優秀賞作品)



「湖模様」 野 佳昭
(第23回明日萌の里フォトコンテスト 最優秀賞作品)



「萌の丘の春」 増井 道英 (第24回明日萌の里フォトコンテスト 優秀賞作品)



「華麗な光」 野 佳昭
(第22回明日萌の里フォトコンテスト 奨励賞作品)



「僕のお手伝い」 はやし ひろし
(第23回明日萌の里フォトコンテスト 優秀賞作品)



「みんなが主役」 山守 陽一
(第24回明日萌の里フォトコンテスト 優秀賞作品)



「勝利の叫び」 花園 勝美 (第24回明日萌の里フォトコンテスト 最優秀賞作品)



町章

ス・マ・田の三文字を力強く組み合わせて図案化。

町民の団結・融和・協調によって

平和郷になる沼田町の発展を象徴しています。

(昭和29年5月8日制定)



町花 つつじ

冬の寒さに耐え、
春は華やかに咲く
花を愛し、
郷土を愛する心を
はぐくむ花として
昭和57年8月8日指定



町木 いちい

風雪に耐え
常緑の「いちい」
自然を愛し、
郷土の発展を
象徴する木として
昭和57年8月8日指定

沼田町開拓130年記念誌発刊にあたり

沼田町は、令和6年で開拓130年を迎えることが出来ました。これを節目に、過去10年間の出来事や町の移り変わり、記念行事等を一冊の記念誌として発刊することといたしました。

沼田町は、明治27年、富山県人沼田喜三郎翁が郷里から18戸の移住を図ったのが開拓の始まりであり、未墾の原始林を切り開き、厳しい自然と立ち向い、飢えや病魔と闘いながら不撓不屈の精神をもってこの地を開拓されました。先人のご苦労は、今、私たちが図り知ることができないものであり、その偉業に對し心から敬意を表する次第です。

苦難の連続の開拓の時代、石炭産業の全盛期時代、そして衰退の時代を経験し、諸先輩達は過疎化に歯止めをかけるべく、いち早く農業構造改善事業による大型圃場の造成など、農業生産基盤の整備を図りました。また、一方では上下水道事業の生活基盤や高規格道路建設の推進など多くのインフラの整備に努め、町民が豊かで安心して暮らせる町へと歩みを進めてまいりました。

本町はこれまで、雪の利活用による施設の整備、雪中米ブランドの確立、夜高あんどん祭りなどの観光振興、特産品の開発・販売、就業支援センターの誘致など、沼田独自の取り組みを全国に発信し続けてまいりました。このことは、今日の町の基盤を創り上げるうえで、欠かさないものとなっております。今日まで築き上げられた諸先輩の卓越した業績を称え、130年の歩みを支えていただいた多くの方々に敬意を表するとともに

深く感謝申し上げる次第であります。

今世の中は、めまぐるしく変化する社会情勢の中で、かつて世界が経験したことのない急激な人口減少、少子高齢化社会への対応、グローバル社会、地方分権の進展など大きな転換期を迎えております。私たちは、これまで先人が積み重ねてこられた歴史・文化・伝統などの様々な資源を有機的に深化させ「第6次総合計画」に掲げる目指す将来像「子どもたちが誇りをもてるふるさと創造」の夢とやさしさにあふれる小さな町の大きな挑戦への実現に向けて、「100年後も持続可能なまちづくり」を目指し、これまで培ってきた知識や経験を知恵と行動に移し、町民の皆さまと共に次世代に引き継ぐ環境整備に全力で取り組み、元気で笑顔の絶えないまちづくりを「オール沼田」で取り組んでいく決意であります。

この開拓130年を契機とし、輝かしい沼田町を創り上げ、町民の皆さまが引き続き安心して暮らし、この町に「住んで良かった」と思ってもらえるよう努力するとともに、町民から託されたご意向を町政に反映出来るよう注力してまいりますので、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。記念誌発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和7年3月

沼田町長 横山 茂

沼田町民憲章

昭和39年8月26日告示第16号

わたくしたちは、豊かな自然と風土に恵まれた沼田町民であることに誇りと責任をもち、先人の開拓精神をうけついで、たがいのしあわせをねがい希望にみちた町づくりのために、この町民憲章をまもりましょう。

- 一、世界とむすぶ、平和な町をつくりましょう。
- 二、元気ではたらき、伸びゆくまちをつくりましょう。
- 三、きまりを守り、善意の社会をつくりましょう。
- 四、未来をきざぐ子供を愛し、楽しい家庭をつくりましょう。
- 五、文化をたかめ、豊かな郷土をつくりましょう。



十年の軌跡

平成27年～令和6年

「稔の田園を ～疾走」 野 佳昭氏 (第21回明日萌の里フォトコンテストJR部門 入選作品)



沼田喜三郎翁



沼田村役場(大正3年)

沼田町は、明治27年、富山県人沼田喜三郎翁が郷里から18戸を率いて入地されたのが開拓の始まりです。

未墾の原始林を切り開き、厳しい自然と立ち向い、飢えや病魔と闘いながら不撓不屈の精神をもってこの地を開拓されました。

私たちは、先人のご苦労やその偉業に対し心から敬意を表し、今日まで受け継いできました開拓精神や、郷土を思う情熱を、これからもしっかりと未来へと繋げてまいります。



開拓当時の家造り



幌新事件のヒグマ
(大正12年)



昭和炭鉱選炭場

Contents

十年の軌跡

- 10 平成27年(2015年)
- 12 平成28年(2016年)
- 14 平成29年(2017年)
- 16 平成30年(2018年)
- 18 令和元年(2019年)
- 20 令和 2年(2020年)
- 22 令和 3年(2021年)
- 24 令和 4年(2022年)
- 26 令和 5年(2023年)
- 28 令和 6年(2024年)
- 30 開拓130年記念イベント
- 34 沼田町統計

沼田初となる新規就農 2家族が新しい一歩 開拓130年に向けて町政が動き出す

3/13
NUMATA 2015
地域医療コミュニティ
カフェ「あったまーる」
始まる

厚生クリニック内に地域医療
コミュニティカフェ「あったまー
る」がオープンしました。

「あったまーる」は、昨年から
行われてきたコンパクトエコタ
ウン構想に関する会合（つなが
る塾）これから塾」内の意見「町
民が地域医療や健康に関する
情報を交換・共有する場所があ
ればいい」等に応え、町民の有
志グループ「ほのぼの」が厚生
クリニックの空いているスベ
ーを利用して開催しました。



3/22
NUMATA 2015
共成保育園
開園式典

て」をテーマに講演を行い、参
加者から「この痛みの原因
は？」など、普段疑問に思ってい
ることを鳥本副院長がわかり
やすく解説してくれました。

共成保育園（渡邊敏
昭園長が49年の歴史に
幕を下ろし、閉園記念
式典を行いました。

閉園式では前園長や
元保育士の方々に感謝
状を贈呈し、渡邊園長
からは「共成地区の子
供たちがこの施設を巣
立ち大きく成長してく
れている。時代の流れ
とともに一つの区切り
をつけることになりま
した。今まで携わって
くれた皆さんに感謝し
たい」と挨拶しました。

式典には地区の住民
や、卒園児や父母ら約
100名が集まり共成
保育園に最後のお別
れを告げていました。



3/30
NUMATA 2015
沼田初の新規就農
2家族（第3継承）誕生

役場3階会議室で、今年から
新規就農する2家族の激励会
が開催されました。



今回就農されたのは、姜さん
（字沼田）と原田さん（字東予）
の2家族で、それぞれ2〜3年
にわたって研修を行い、姜さん
は中島賢一さん（字沼田）、原田
さんは山本和夫さん（字東予）
から農地や設備を買入れ、
営農を継ぐ「第3者継承」の形
で4月から本格的に水稲や花
卉などの栽培に取り組んでい
ます。

激励会で金平町長は「新しい
農業形態が始まる記念すべき

5/22
NUMATA 2015
ロシアに
トマトジュースと
ケチャップを輸出

日です。様々な困難もあると思
いますが、全力で応援してい
きたい」と挨拶しました。

北のほたるファクトリーで
製造を行っているトマトジュ
ースとケチャップをロシア・ユ
ジノサハリンスク市の大手ス
ーパーに輸出を行いました。

今回輸出したのは、缶入りの
トマトジュース有塩と無塩の2
タイプ計600本と、完熟トマ
トケチャップ48本です。

今回の輸出は昨年町で開催
した農産物の販路開拓に向け
たシンポジウムがきっかけとな
り、今年2月の商談会でユジノ
サハリンスク市のスーパーの担
当者から高い評価を受け、実現
することになりました。



5/30
NUMATA 2015
初めて小・中学生
合同運動会を開催

沼田小学校（元木和芳校長）・
沼田中学校（小川勉校長）が合
同で運動会を開催し、2種類の
競技を合同で実施しました。

開会式は小学校グラウンド
で行われ、中学校生徒会長の久
保さんと小学校児童会会長の
石川さんが「合同の競技には小
中、力を合わせて頑張ります。
応援をよろしく願います」と
と開会宣言を行い、両校を代表
して中学校の小川校長が「関係
者が手を携えて地域の皆さま
の力もいただいて一貫連携を進



めてきています。子供たちのい
きいきとした姿に声援をお願
いします」と挨拶をしました。

6/25
NUMATA 2015
富山県小矢部市に
沼田喜三郎翁の
開祖記念碑を建立

富山県小矢部市で沼田喜三
郎翁の開祖記念碑の除幕式が
執り行われました。

昨年、町民有志の方々が開祖
記念碑建立にかかる寄附を町
民に呼びかけ、集まった寄付で
小矢部市にある沼田喜三郎翁
の墓代の墓に建立しました。

当日は沼田町から金平町長
渡邊議長、吉住建設実行委員長
を始め9名が小矢部市を訪問
し、除幕式を執り行いました。



除幕式には小矢部市の桜井
市長も出席し、「これからも記
念碑とお墓を守っていきたい。
沼田町の皆さんに感謝したい」
と謝辞を述べられていました。

9/5
NUMATA 2015
特別養護老人ホーム
旭寿園開園30周年記念式&
ふれあい祭り

町特別養護老人ホーム旭寿
園で開園30周年記念式・ふれあ
い祭り」が開催され、入所者の
家族など多くの方が駆けつけ
ました。

開会式では金平町長が「高齢
者福祉の中核施設として、明る
く生きがいのある施設を目指
していききたい」と挨拶しまし
た。その後、入所者の白寿と米

9/25
NUMATA 2015
道内女性最高齢（110歳）に
島山てるさん（旭寿園）が
知事表彰受賞

110歳で道内の女性最高
齢となった島山てるさんが、特
別養護老人ホーム旭寿園で北
海道知事からの祝いの状を受け
取られました。

島山さんは病気もなく、3度
の食事もスプーンを使ってい
自分で食べられています。この日
は、娘の藤川和子さんとお孫さ
んが駆けつけ、お祝いの花束で
祝福をうけていました。



寿のお祝いが行われ、金平町長
からお祝いを手渡された入所
者は「ありがとう」とお礼の言
葉を述べていました。

また、職員による余興などを
入所者の皆さんは家族の方と
楽しまれ、和やかな雰囲気の中
での催しとなりました。



平成27年（2015年）主な出来事

- 3月 地域医療コミュニティカフェ「あったまーる」始まる（3/13）
- 3月 共成保育園開園式典（3/22）
- 3月 沼田初の新規就農2家族（第3継承）誕生（3/30）
- 4月 ロシアにトマトジュースなど輸出（5/22）
- 5月 初めて小・中学生合同運動会を開催（5/30）
- 6月 富山県小矢部市に沼田喜三郎翁開祖記念碑を建立（6/25）
- 9月 特別養護老人ホーム旭寿園開園30周年記念式&ふれあい祭り（9/5）
- 9月 道内女性最高齢（110歳）に島山てるさん（旭寿園）が知事表彰受賞（9/25）
- 10月 恵比島神社が沼田神社へ合祀（10/23）
- 10月 沼田町まち・ひと・しごと総合戦略策定（10/27）
- 11月 観光協会が東京で「ぬまたまるごとフェア」を開催（11/26）
- 11月 「北空知圏学校給食組合」解散（給食センター解体）
- 12月 雪中商品を道内初「ふるさと名物応援宣言」（12/15）

夜高あんどん祭りが40回目を迎え、新たな歴史刻む NHK大河ドラマ『真田丸』が縁で群馬・沼田市と交流

2/27
沼田幼稚園
開園式

今年度限りで閉園となる町立沼田幼稚園（本庄修園長の開園式が教職員や園児、父母が出席する中行われました。沼田幼稚園は昭和53年の開園から本年まで1,648名の園児たちの幼児教育を担ってきましたが、4月から「認定こども園」が開設することに伴い、38年の歴史に幕を下ろします。閉園式では金平町長が「閉園は忍びないが、新しいこども園で全ての子どもたちが心身ともに健やかに育つてほしい」と式辞を述べました。お別れの言葉と歌を園児が披露し、最後に本庄園長から金平町長に園旗が返納されました。



4/1
町立「沼田厚生
クリニック」開設

JA道厚生連「沼田厚生クリニック」が町に移管され「町立沼田厚生クリニック」としてスタートしました。



町立への移管に伴って道厚生連、西一司副会長から職員への辞令交付式が行われ、「厚生連の病院として74年の歴史に幕を閉じるが、沼田町を中心として多くの住民の健康を守り、今までと変わらない医療サービスを提供したい」と述べられました。

また、金平町長は「今日が町立の地域医療のスタートの日、町と地域の方々と一体となってクリニックを守っていきたい」と述べました。

4/1
中学校卒業生、廣瀬七海さん
女子バレーボール
NECレッドロケッツ入団

旭川実業高校を卒業し、VプレミアリーグのNECレッドロケッツに入団が内定している廣瀬七海さん（市内1北）が、町長室を訪れ入団に向けての決意や沼田町の子どもたちにメッセージを寄せてくれました。

沼田中学校時代には北海道選抜に2回選出、また旭川実業高校時代にはバレーボール全日本女子ジュニアに選抜され国際大会を経験するなど将来を有望視されている選手です。



最後に沼田町の子どもたちに向けて「強い意志を持ってやっていたら夢は叶う、目標をしっかりと持って頑張つてほしい」とメッセージをいただきました。

4/1
役場内に「移住定住
応援室」を設置

平成28年度より住民生活課内に「移住定住応援室」を新たに設置しました。



この「移住定住応援室」は職員3名、移住コーディネーター1名、定住支援員1名の計5名体制で、移住を希望する方々の相談対応や沼田町の魅力のPR・移住希望者へのきめ細やかなサポートなどの移住定住に向けてのお手伝いを行います。

4/18
NHK大河ドラマが
縁で群馬県沼田市で
特産品PR

金平町長がNHK大河ドラマ「真田丸」の舞台、群馬県沼田市を訪れ、同じ「沼田」同士の交流を始めました。この交流の始まりは、本町で撮影されたNHK連続テレビ



小説「すずらん」の翌年上映された映画「すずらん」少女萌の物語の製作に携わり、現在、ドラマ「真田丸」のプロデューサーを務めるNHKの吉岡和彦氏に橋渡しをしていただき実現しました。

沼田市で開催されている「上州沼田真田丸展」の会場、缶に「真田丸」のロゴシールを貼り付けた本町のトマトジュース（加塩、無塩の2種類、計500本を販売し好評により完売しました。

この後行われた記者会見で、横山公一沼田市長は「つながりを大切に、まずは物産などで交流を進めたい」と話し、金平町長は「これを機に本町のトマトジュースを全国に発信したい」と述べました。



9/23
「食生活改善
優良組織表彰」を受賞

沼田町食生活改善協議会（岡田久恵会長）が北海道知事から地域住民へ健康づくりを通じて優れた成果を挙げられた団体に贈られる「食生活改善優良組織表彰」を受賞しました。

受賞された食生活改善協議会は昭和58年に設立、本町の栄養及び食生活改善の普及活動を行っています。近年は、子どもから成人、お年寄りと幅を広げ、わかりやすく、楽しく食生活改善を勧めるために、お弁当



が夜高会館で行われた出陣式には雨も上がり大小合せて14基のあんどんが勇壮に出陣し、祭りの幕が切られました。40回の節目であることから、4基の大型あんどん、中学校あんどんの山車（だし）が新調、4月に開設した認定こども園としても初参加となり、各あんどん連とも熱が入った山車を披露。26日には、母村である富山県小矢部市から高島副市長・義浦副議長にお越しいただき、

両日とも天候に恵まれ、2日間延べ約5万4千人の観光客が訪れ、例年にない盛り上がりとなりました。

平成28年(2016年)主な出来事

- 2月 沼田幼稚園閉園式(2/27)
- 4月 沼田認定こども園が開園(4/1)
- 4月 町立「沼田厚生クリニック」開設(4/1)
- 4月 中学校卒業生、廣瀬七海さん女子バレーボールNECレッドロケッツ入団(4/1)
- 4月 役場内に「移住定住応援室」を設置(4/1)
- 4月 NHK大河ドラマが縁で群馬県沼田市で特産品PR(4/18)
- 6月 「ほたる学習館」リニューアルオープン(6/25)
- 7月 広報「ぬまた」発行600号達成(7/7)
- 7月 ハイテクインター株式会社 北海道テストセンター開設
- 8月 東予開拓120周年記念式(8/18)
- 8月 第40回沼田町夜高あんどん祭り(8/26・27)
～NHK大河ドラマ「真田丸」出演俳優(草刈正雄他)応援参加～
- 9月 「食生活改善優良組織表彰」を受賞(9/23)



6/25
「ほたる学習館」
リニューアルオープン

幌新にある「ほたる学習館」内部に炭鉱資料館として炭鉱の写真パネルやジオラマなどを展示していましたが、この度のふるさと資料館の公開中止に伴い、沼田町開拓功労者の写

8/18
東予開拓
120周年記念式

東予地区において、先人の労苦に感謝する開拓120周年記念式典が46名の参列のもと執り行われました。式典では、金平町長より「先人の努力に敬意を表します。若い人たちに東予の歴史を継承していつていただきたい」と述べました。



8/26・27
第40回沼田町
夜高あんどん祭り

8月26日（金）・27日（土）の2日間、沼田町夜高あんどん祭りが開催されました。初日は朝から雨模様でした



「まちなかほっとタウン」「暮らしの安心センター」オープン
コンパクトな町づくりをめざして

3/11
北竜地区開拓
120周年記念式典

北竜第3地区において、先人の労苦に感謝する開拓120周年記念式典が執り行われました。

式典では、絵内行政区長が「120年前我々の祖先がこの地に着き、開拓を始めた。幾度の苦難があつたことが想像されます。その意思を後世まで語り継ぐのが自分達の使命です」と述べられました。



4/1
沼田警察署が
深川警察署と統合

29年、最初の入植者は堀要二郎氏を始めとする6名であり、越中五箇山の人達によって開拓されたことから、出身地の地名がそのまま地区名として「五ヶ山」となりました。

が、昭和25年に現在の北竜第3地区と改正されました。

深川警察署沼田警察庁舎開始式が執り行われました。

この日から沼田深川両警察署が統合し、深川警察署が従来の1市3町に加え、新たに沼田町北竜町も管轄することになりました。

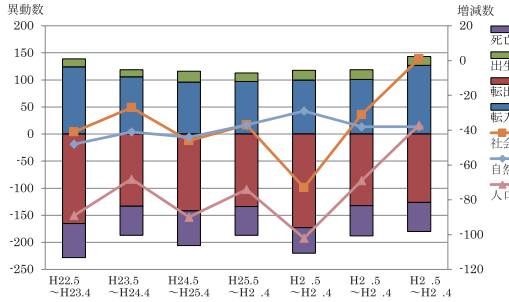
式では吉田深川警察署長が「統合の効果を地域住民に感じていただけるよう、安心して暮らせるまちづくりに尽力したい」と話されました。



5/1
平成28年度の転入者が
転出者を17年ぶりに上回る

本町では進行し続ける人口減少に歯止めをかけるため、平成28年4月から移住定住窓口を一本化した移住定住応援室を設置し、住まい環境や各種支援制度の紹介など本町の魅力ある情報の発信と、移住定住希望者に対するきめ細やかな対応を行い、転入者増を目指して一年間、様々な事業に取り組んできました。その結果、平成29年4月までの数値で人口増減

○過去7年間の人口比較（各年5月～翌年4月までの推移）



6/17
沼田町就業支援センター
開所10周年記念式典

町民会館で、みのや雅彦『歌吹雪』ライブ・シリーズ番外スペシャルマッチ『沼田讃歌』が開催されました。

みのやさんはテレビドラマの主題歌でもあった「笑えないピエロ」などを披露し、来場され



9/30
「まちなかほっとタウン」
グランドオープン

商業中核施設「まちなかほっとタウン」のグランドオープンを記念してオープニングイベントが開催されました。オープン前から降り出した雨により30分遅れで行われましたが、沼田夜高太鼓の演奏で雨雲を吹き飛ばし、イベントは無事終了しました。

10/5
沼田町就業支援センター
開所10周年記念式典

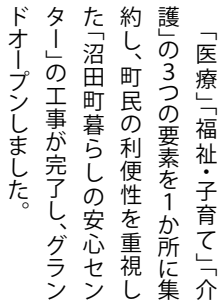
道内各地から関係者約100名が参加し、沼田町就業支援センター開所10周年記念式典が沼田町生涯学習センター「ゆめつくる」で執り行われました。

式では、法務省保護局副本直美局長から「農業実習等を通して少年達の更生を図ることを目的として開所され、今日まで約60名を受入れて来ました。今後とも少年達の立ち直りの拠点として取り組んで



10/2
「沼田町暮らしの
安心センター」
グランドオープン

「医療」「福祉」「子育て」「介護」の3つの要素を1か所に集約し、町民の利便性を重視した「沼田町暮らしの安心センター」の工事が完了し、グランドオープンしました。



沼田町立沼田中学校創立70周年・統合50周年の記念式典が沼田中学校体育館で、在校生68名・来賓など124名の総勢192名が参加され執り行われました。

式典では、岡田聖人協賛会長から「昭和22年に沼田村立



沼田中学校として開校、昭和43年に沼田・共成・北竜中学校の3校が統合しました。常に校訓を基に教育目標を実現できる



最後に全校生徒が「ふるさとを合唱し歴史の重さをかみ締め、沼田中学校の今後の発展を誓いました。」



いきます」と挨拶されました。

式典では、法務大臣からの感謝状が5団体・4個人へ贈られ、本町からは絵内勝己氏、藤村直幸氏、長原誠氏の3名が受賞されました。

よう時代に応じた前向きな教育を実践してきました。特に昭和46年には生徒会の発案により卒業して10年後にみんなが会うことができる様につくられた「再会の塔」は45年間が経過した現在も継続されています。いつまでも、仲間・母校・故郷を忘れないで下さい」と挨拶がありました。続いて、小川勉校長から式辞、金平町長・高田副議長からは祝辞があり、70周年のお祝いをいただきました。



た約250名の方々は、迫力ある歌唱に酔いしれていました。また曲の合い間では、シンガーソングライターになったきつかけや生い立ちなど、ユーモアを交えて語り、会場は笑いに包まれました。

アンコールでは、町内の方々と結成されたコーラス隊とみのやさんによる沼田町を紹介する応援ソング「沼田讃歌」も披露され、涙あり、笑いありのコンサートとなりました。

アンコールでは、町内の方々と結成されたコーラス隊とみのやさんによる沼田町を紹介する応援ソング「沼田讃歌」も披露され、涙あり、笑いありのコンサートとなりました。

平成29年(2017年)主な出来事

- 2月 沼田町農業法人会が設立(2/14)
- 2月 沼田小・中学校が「北海道教育実践表彰」受賞(2/22)
- 3月 北竜地区開拓120周年記念式典(3/11)
- 4月 沼田警察署が深川警察署と統合(4/1)
- 5月 H28年度の転入者が転出者を17年ぶりに上回る(5/1)
- 6月 みのや雅彦コンサートで沼田町応援歌「沼田讃歌」発表(6/17)
- 9月 「まちなかほっとタウン」グランドオープン(9/30)
- 10月 「沼田町暮らしの安心センター」グランドオープン(10/2)
- 10月 沼田町就業支援センター開所10周年記念式典(10/5)
- 10月 タスマン株式会社が工業団地購入契約調印式(10/5)
- 11月 沼田中学校創立70周年統合50周年記念式典(11/19)



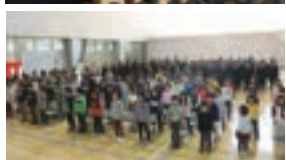
乗合タクシーの運行が始まる ヌマタネズミイルカが北海道天然記念物に登録

4/26
NUMATA 2018
小中一貫連携校
「沼田学園」開園式

沼田学園開園式が、沼田学園沼田小学校体育館で執り行われました。

児童・生徒数が減少するなど将来を予測し、平成7年「沼田町一貫教育検討委員会」を設置し、翌8年には「沼田町一貫教育推進協議会」を設立して、多くの議論を重ね、この日の開園式となりました。

式には、児童・生徒や保護者、町教育の関係者ら約250人の参加があり、疋田博和学園長（沼田小学校校長）から「9年間を通して、ふるさと沼田に誇りをもつて充実した学校生活を過ごせるよう努力します」と挨拶があ



りました。式の最後には、児童・生徒が一緒に「この星に生まれて」を合唱して、「沼田学園」の船出を祝いました。

沼田学園の名称は、合同運動会など、小中の合同行事に使用されます。

4/18
NUMATA 2018

株式会社カネカと
地域包括連携協定結ぶ



北海道において健康・食・新規住宅ソリューションなど様々な分野で事業を展開する株式会社カネカ（角倉謙代表取締役社長）と「地方創生包括連携協定」を結びました。この協定は、沼田町の地方創生に向け、相互に協力してそれぞれの資源を有効に活用した事業の推進を図るものです。

協定の締結式には株式会社カネカを代表して田中稔代表

5/22
NUMATA 2018

岡田聖人氏所有
「献穀田」にて
献上米の「お田植祭」

取締役副社長が出席され、渡邊議長が立ち合われる中、協定書を締結しました。

金平町長は、「株式会社カネカと沼田町が一体となつて地方創生に取り組んでいきたい」と述べました。田中副社長は、「北海道の良さを発掘し、更に大きく新しい事業を北海道で展開していき、農作物の収量を上げる試験等を含め、沼田町に貢献出来る事業を行ってきたい」と話されました。

宮中祭祀行事の新嘗祭（いになめさい）に献上する米の「お田植祭（おたうえさい）」が、献穀田（けんこくでん）として指定された更新の岡田聖人さんが所有する水田で執り行われました。献穀田は毎年、北海道で2カ所選ばれ、今年度は檜山管内今金町と北いぶき農業協同組合の水田が11年ぶりに選ばれました。

この日は、農業関係者など約70名が宮中へ献上するお米が



7/12
NUMATA 2018
道警・沼田消防支署・
沼田町による
合同防災訓練

沼田中学校グラウンドにおいて、北海道警察、沼田消防支署及び沼田町による合同防災訓練が行なわれました。

この訓練は、沼田市街地に震度6強の大規模地震が発生したという想定で行なわれ、自宅から沼田小学校の避難者受付

9/25
NUMATA 2018

合同企業説明会等
「しごと・未来応援
プロジェクト」がスタート

クラーク記念国際高校（深川市）の生徒20名が町内の事業所・施設で4日間のインターンシップを行いました。

しごと・未来応援プロジェクト事業は今年度新たに取り組む事業で、町内の事業所に一人でも多くの若者に働いてもらう事が目的。同校で合同企業説明会を開催し、今回5事業



10/27
NUMATA 2018

第30回東京沼田会
原田環境大臣出席される

その後、北海道警察、沼田消防支署による倒壊家屋や閉じ込められた車両からの救出訓練、北海道警察ヘリコプターによる負傷者搬送など、実践さながらの訓練が披露。参加された方々が一人一人の防災意識を高めることが重要だと再認識した合同防災訓練となりました。

まで徒歩で避難するというもの。付近住民約50名が訓練を行いました。また、沼田小学校と沼田中学校の生徒は、地震発生の放送と同時にシェイクアウト（机の下に避難）と屋外への避難訓練を行い、災害発生への対応を学びました。



東京沼田会（田坂勝芳会長）の第30回総会・懇親会が開催されました。本町から金平町長、渡邊議長、吉住商工会長、岡田土地改良区理事長、東京沼田会発足に尽力された篠田元町長が出席。また、小学校低学年に沼田町浅野に居住されていた東京沼田会会員の環境大臣原田義昭衆議院議員（福岡5

6/1
NUMATA 2018

沼田町
乗合タクシー運行が
開始される

民間交通機関の少ない本町では、従来より町直営のバスを運行し町民皆さんの交通手段の確保を図ってきましたが、平成29年度に実施した「巡回バス実証運行」及び平成25年度か



ら運行している「予約制バス」の利用状況やニーズを検証し、平成30年度からは本町を東西に横断する「幌新線・東予線」を存続させつつ、より町民皆さんに使いやすい交通手段として「乗合タクシー」の運行が開始されることになりました。



豊かに実るよう祈願しました。その後、早乙女姿の女性6名が水田に入り「ななつぼし」の苗を丁寧に手植えをしました。

耕作者の岡田さんは「米どころ沼田を代表して、出来秋に



はいいお米が献上出来るよう育てたい」と話していました。

10/30
NUMATA 2018

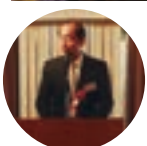
ヌマタネズミイルカが
北海道天然記念物に登録

ヌマタネズミイルカ化石が北海道の天然記念物に指定されました。化石の北海道天然記念物指定は、タキカワカイギウ化石（滝川市）、ホベツアラキリウ化石（むかわ町）に続き3例目です。

ヌマタネズミイルカ化石は1985年に、当時秩父別中学校の故山下茂教諭によって発見され、沼田の化石研究の契機になりました。



次氏から「恐竜」についてお話を聞いたとき、参加者は、生物の進化過程や最新の化石情報など、「博士」の講演に聞き入っていました。



久保前会長の発足当時の思い出など、華やかな総会・懇親会となりました。



10/8
NUMATA 2018

化石体験館開館
10周年記念
シンポジウム

ほろしん温泉はる館で、沼田町化石体験館開館10周年記念事業シンポジウム「化石博士集合」が行われました。

沼田町化石館の元学芸員である田中嘉寛氏より「クジラ・イルカ」「タカハシホタテ」、本町の学芸員としてヌマタカイギウ復元など功績を残された古沢仁氏より「カイギウ」、世界で活躍されている小林快

令和元年——新たな時代が始まる 「住みたい田舎」北海道1位、全国2位に

2/3
月刊誌「田舎暮らしの本」
「住みたい田舎」ランキング
北海道1位、全国2位に

移住希望者向けの月刊誌「田舎暮らしの本」(宝島社)2月号で沼田町が住みたい田舎ランキング北海道エリアで1位となりました。全国の12エリア別でベストランキングを選ぶ本企画では全国の自治体に参加し、福祉や医療、教育などに関するアンケートに回答を行い、5部門で点数化した結果、「若者世代が住みたい田舎」「子育て世代が住みたい田舎」両部門と「総合」で1位に輝きました。また、人口5,000人以下の自治体対象の住みたい田舎ランキングでは全国2位に選ばれています。



金平町長は「移住希望者のニーズに対応する組織を立ち上げたことやウェブサイト等で町の魅力を発信してきたことが今回のランキングにつながった。今後も移住支援を充実させていきたい」と話されました。



3/26
「和風園(養護老人ホーム)」
開園50周年記念式典

養護老人ホーム 和風園で「開園50周年記念式典・祝賀会」が執り行われました。式典では金平町長が「地域の方々のご協力をいただきながら、開園50周年を迎えることができました。今後は更に施設の役割が大きくなるという意識を地域全体で持ち続けたい」と挨拶しました。また、祝賀会では同園職員による余興や歌謡ショーが行われ会場は笑顔と拍手にいつまいていました。

5/20
クラウス15号が日本遺産
(北海道「炭鉄港」の構成文化財)として認定

北海道の「炭鉄港」が日本遺産に認定されました。「炭鉄港」とは空知の「石炭」、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」とそれらをつなぐ「鉄道」という北海道近代化のストーリーに焦点を当てた産業遺産活用 of 取組のことをいいます。今回の認定では、石炭貨車の運搬で活躍した沼田町の「クラウス15号蒸気機関車」が構成文化財の一つとなりました。文化庁では、地域の歴史的的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定し、ス



6/1
子育て交流広場
「えがお」オープン



子育て交流広場「えがお」(沼田町子育て支援センターサテライト施設)が旧沼田幼稚園の建物を活用し、オープンしました。子どもたちの遊び場・子育て家庭同士の情報交換・仲間づくり・子育て相談・子育て学習を展開していきます。のびのびと遊べる「おやこひろば」やアイランドキッチンを



備えた「ママ・パパ交流広場」などがあり、名称通り「えがお」があふれる、楽しい親子の遊び場ですので、お気軽にお越しください。

令和元年(2019年)主な出来事

- 2月 月刊誌「田舎暮らしの本」(宝島社)の「住みたい田舎」北海道1位、全国2位となる(2/3)
- 3月 町内発掘された「ヌマタナガスクジラ」が新種と認定(3/11)
- 3月 「和風園(養護老人ホーム)」開園50周年記念式典(3/26)
- 4月 北空知衛生センター組合加入(沼田藤沢火葬場閉鎖3/31)
- 5月 高橋竜介さんパワーリフティング全道大会で1位(5/12)
- 5月 クラウス15号が日本遺産(北海道「炭鉄港」の構成文化財)として認定(5/20)
- 6月 子育て交流広場「えがお」オープン(6/1)
- 6月 沼田学園地域支援「コミュニティ・スクール」始まる(6/1)
- 6月 沼田町第6次総合計画(2019~2026)策定
- 7月 「ぬまわーくサポートデスク」(無料職業紹介所)開設(7/1)
- 7月 北海学園と包括連携協定結ぶ(7/9)
- 11月 鉄道シンポジウム開催(JRに乗り続け隊サポーター開始)(11/24)
- 12月 災害用トイレトレーラーCFにて道内初導入(12/7)



7/1
「ぬまわーくサポートデスク」
(無料職業紹介所)開設

町では、企業への雇用支援等を目的として仕事を探している人(求職者)と働く人を募集

7/9
北海学園大学と
包括連携協定結ぶ

北海学園大学で建築を学ぶ学生が、町内の空き家を学生自身でリノベーションし、移住体験等に有効活用する事業を実施し、今年で3年目となります。この事業がきっかけとなり、北海学園大学と包括連携協定を結びました。沼田町と札幌市にある北海学園大学(安酸敏真学長)は7月9日、学術振興や地域づくりの推進を目的とした包括連



12/7
災害用トイレトレーラー
CFにて道内初導入



本町は一般社団法人助けあいジャパンが取り組む災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」に参加し、この度クラウドファンディングが終了しました。町内外の方々や各団体の方々等、多くの方により870万3千円と目標額以上の寄附が集まり、12月7日このプロ



ジェクトでは北海道初のトイレトレーラーが沼田町に導入されました。万が一発生する本町での災害時や災害に見舞われた被災地への派遣、さらに平常時には町内外のイベント等で仮設トイレとしても使用予定です。

トレーラーには洋式の水洗便所の個室が四つ備っており、寒冷地仕様になっています。車体には夜高あんどん祭りのデザインが施されています。

コロナウイルス感染症広がるも町民の温かい支援広がる
心を癒す雪氷桜が街を飾る

令和2年(2020年)主な出来事

- 1月 「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置、各種対策・支援事業を展開(1/23)
- 2月 「炭鉄港」日本遺産認定記念フォーラム(2/15)
- 2月 コロナウイルス流行により団体・企業が手作りマスク、除菌スプレー等を続々と寄贈
- 3月 沼田歌人会が発足50年記念歌集「草笛」を発刊(3/16)
- 3月 コロナウイルス感染予防のため、学校や公共施設の休校・休館が相次ぐ
- 7月 ほたる館や町内の商店等に雪氷桜が飾られる(7/23)
- 8月 「議会と町民の集い」町民モニター制度スタート(8/29)
- 9月 交通事故死ゼロ3,000日達成(9/25)
- 10月 川嶋琉姫さん(中3)バレーボールでJOCカップ北海道大会の北海道選抜選手に選出(10/13)
- 11月 沼田町老人クラブ連合会創立50周年記念式(11/10)
- 11月 小中学生全員にタブレットPC配布(GIGAスクール)(11/25)
- 12月 ガイドブック「JRに乗ろう」を全小中学生に配布(12/23)



7/23
NUMATA 2020

ほたる館や町内の商店等に
雪氷桜が飾られる

道内34市町村から寄せられ沼田町の雪室に貯蔵していた、本来東京オリンピック・パラリン

2~
NUMATA 2020

コロナウイルス流行
団体企業が手作りマスク
除菌スプレー等を寄贈

新型コロナウイルスの感染拡大でマスクの品薄が続く中、商工会女性部(三浦実希部長)、町内で音楽活動をしている歌声サークル(市橋静代代表とウクレレサークル(菅原瑞枝代表)が、コロナウイルス感染予防のため小学生に手作りマスクを寄贈しました。



商工会女性部員がテレビを見て「学校が始まるのにマスクが無い。作るのできない保護者もいる。私たちが作ろう」と思い立ち、それから約1週間で300枚のマスクを完



成させました。商工会女性部の三浦部長はこのマスクで元気な沼田っ子でいてほしい。必要であれば追加で作ります」と話しました。

また、歌声サークルの市橋代表は「マスクが不足しているのでもっと役に立ちたい。未来のある子どもたちにぜひ使ってほしい」と話していました。手作りマスクを受け取った横山町長は「子どもたちにとって心配していた環境に手作りマスクが届いたのはとてもうれ

3/16
NUMATA 2020

沼田歌人会が発足50年
記念歌集「草笛」を発刊

町内に住む短歌の愛好者でつくる沼田歌人会(市橋静代会長)が発足50年を記念して第



また、玄関横には「真夏の雪あそび」というコーナーが設けられ、子供たちが真夏の雪遊びに夢中になっていました。



11月10日ふれあいで行われました。

11/10
NUMATA 2020

沼田町老人クラブ連合会
創立50周年記念式

昭和45年に創設され現在も活発に活動されている、沼田町老人クラブ連合会(松野茂雄会長の創立50周年記念式典が



式典で松野会長は「人生100年時代、これから今まで培った経験や知識を地域のために役立てていきたい」と挨拶し、横山町長は「高齢者の方々が生き生きと暮らしていける、町民の皆さまに喜んでもらえるまちづくりを進めていきたい」と祝辞を述べられました。

その後、歴代の役員と事務局合わせて22名に特別表彰が贈られ、受賞者を代表して鷺尾金一さんが「あつという間に年をとってしまったが、健康でいられることがありがたい。町民の方のために私たちが出来ることがあればやっていきたい」と謝辞を述べました。

3~
NUMATA 2020

コロナウイルス感染予防
学校や公共施設の
休校・休館が相次ぐ

5歌集「草笛」を発刊しました。歌集の中には物故会員を含め19名の作品がそれぞれ20首ずつ収録されています。

市橋会長は「短歌にはそれぞれの人が柄がにじみ出ています。ぜひ手にとりて見てほしい」と話していました。この歌集は、図書館や安心センター、ほたる館で閲覧できます。



新型コロナウイルス感染症は終息が見えず、道内は札幌市を中心に、再び感染拡大しています。最近では、感染源がわからない市中感染(いつの間にか感染している)が増えていくため、本町にとっても他人事ではありません。

4月7日に政府は「緊急事態宣言」を発令し、これを受けて、北海道は札幌市と共同で



「緊急共同宣言」を行い、公共施設の休館と不要不急の外出および札幌市との往来を控えるよう等を要請しました。

政府の緊急事態宣言は、4月16日に全都道府県に拡大し、北海道は「特定警戒都道府県」に指定、本町の町内施設においても感染予防対策のため休館、または施設のオープンを延期をすることになりました。

11/25
NUMATA 2020

小中学生全員に
タブレットPC配布
(GIGAスクール)

一人1台子供たちにデジタル機器を渡すGIGA(ギガ)スクール構想の一環で、沼田小



学校と中学校の児童生徒全員にタブレットパソコンが渡されました。

小学4年生の教室では、先生からグーグルアカウントの意味やネットを介したミーティングの方法などが説明され、子供たちはタブレットのカメラを使いお互いの顔を映し出すなどして歓声を上げていました。

12/23
NUMATA 2020

ガイドブック
「JRに乗ろう」を
全小中学生に配布

JR留萌本線利用促進策として、列車への乗り方等を解説したガイドブック「JRに乗ろう」の自家用と持ち歩き用各200部が完成し、このほど沼田学園に届けられました。

町観光協会と町が共同で作成し、石狩沼田駅での切符の買い方や乗車方法、深川駅での切符の買い方などが丁寧に写真付きで記載されています。

ガイドブックを手渡した横山町長は「鉄道の魅力をお子供たちに伝えてほしい」と述べ、



受け取った米倉卓司学園長は「近隣のまちにかけられる一番身近な交通機関として子供たちに利用してほしい」と話されました。

コロナ禍でも前を向いて一歩ずつ前進する町 道外企業の新しい拠点が町内に誕生

3/10
NUMATA 2021
「夜高あんどん半纏」を
中学3年生全員に贈呈

母校やふるさと沼田町への想いを持ち続けてもらえるよう、今春中学校を卒業する生徒21名に夜高あんどん祭りの藍染の半纏が贈られました。

横山町長は「これまで育ててくれたご家族や地域の方々に感謝してほしい。また、これからの人生の中でつらくなった時は、沼田町で学んだ15年間の想い出してたくましく生きてほしい」と郷土をいつまでも忘れないでとメッセージを贈り、生徒に半纏を手渡しました。



3/10
NUMATA 2021
商工会創立100周年・
商工会青年部創立55周年
記念式典挙行



沼田町商工会(吉住淳男会長)の創立100周年記念式典及び商工会青年部創立55周年記念式典が

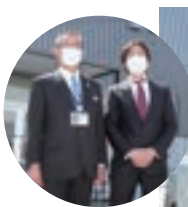
3月10日町民会館で執り行われました。吉住会長は式辞の中で「ここ10年で目まぐるしく環境が変わったが、小売業は地域の重要なインフラである。全国に先

駆けて政府の積極的な関与を訴え、町と農協と協力して平成29年にまちなかほっとタウンをオープンさせることが出来たと挨拶しました。また町優良産業表彰(町長表彰)として(有)白井産業(白井有一社長)を表彰しました。

4/1
NUMATA 2021
農産加工場が「コーミ北の
ほたるファクトリー」に改名

トマトジュースやトマトケチャップ等を製造する沼田町農産加工場を4月1日から、町と業務提携を結んでいる、コーミ(株)(名古屋市中)が新しく設立した「コーミ北のほたるファクトリー株式会社」に指定管理委託しました。

町とコーミ(株)は2012年に協定を結んでから技術支援を受けケチャップなどの商品を作ってきたおり、加工用トマト生産日本一を目指す当町と商品の増産を考えているコーミ(株)の想いが一致し、今回の指定管理となりました。現在、沼田町製品市場は全国的に消費者の健康志向から、



国産トマトを使った製品が人気の一方、加工用トマトの生産量は年々減少しており、加工用トマトの産地である沼田町とトマト商品開発技術のあるコーミ(株)が手を組み、今後のトマト商品増産へ向けて共に進んでいきます。

コーミ(株)の川澄亮太社長は「新会社は、沼田町と共に発展していきたい。従業員、お客様そして沼田町民の3者が良い方向に進むようがんばっていき」と話されました。

6/1
NUMATA 2021
生活困窮大学生へ雪中米を贈る
「キャンパスライス」
プロジェクト始まる

沼田町は、6月から7月26日までの間、「キャンパスライスプロジェクト」と題し、新型コロナウイルスの影響で生活が困窮する全国の大学生に「雪中米」を贈るため、ふるさと納税の仕組みを活用したクラウドファンディングを実施しました。その結果、全国から241件891万4,120円の寄附(ふるさと



7/12
NUMATA 2021
飯田有音さん(旭実高3)、
高体連女子バレー全道大会優勝
全国インターハイに出場

旭川実業高校3年生の飯田有音(あると)さんが、高体連全道バレーボール大会優勝と、7月27日から石川県金沢市で開



と納税が集まり、応募のあった43都道府県、計200大学の2,278人に雪中米無洗米2キロを送ることができました。寄附者からは「おいしいお米でみなさんがほっこり笑顔になれるといいですね」「素晴らしいプロジェクトだと思います。微力ながら活動の助けになれば幸いです」など多くのメッセージが添えられていました。このメッセージは、発送する雪中米と同梱しています。

9/22
NUMATA 2021
タスマン(株)が
旧柔剣道場に新工場開所

沼田工業団地に進出予定で液体噴霧器部品製造販売を手掛ける、タスマン株式会社(多田宏代表取締役社長)が、旧柔剣道場を改修し創業する、新工場の開所式を行いました。



工場は各機材が設置され、液体噴霧器の製造を一貫して行うことが可能で、このような設備は北海道初とのこと。多田社長は「北海道のユーザーも増え、本州からの発送だと納期も不安定であったが、拠点を持つことで様々なことが解決されていく」と話され、横山町長は「本町の施設を活用した新しいビジネスの始まりであり、行政として精一杯協力していきたい」と話しました。工場は10月1日から稼働し、工業団地で事業を開始する頃には従業員を10から15人雇用する予定です。

12/16
NUMATA 2021
ハイテクインター(株)
北海道開発
テストセンター竣工



工業団地を購入していたハイテクインター株式会社(東京都渋谷区)旦尾紀人代表取締役社長の北海道開発テストセンターが完成しました。12月16日の竣工式には、関係者20名ほどが参加し、旦尾社長は「皆さまのおかげでようやくこの日を迎えることができました。北海道のシリコンバレーを目指します」と挨拶され、横山町長は「ハイテクインターが進めるICT環境は、これからの時代必要不可欠です。私たちも今まで以上にサポートしていきたい」とお祝いの言葉を述べました。

4/1
NUMATA 2021
新規就農受入のための
「アグリファーム」を設立

新規就農希望者の研修から就農までを一貫支援することを目的とした「ぬまたアグリファーム」が4月1日発足しました。JAや土地改良区、農業者らが一体となり受け皿を設けることで、農家人材を円滑に呼び込み定着に繋げようというものです。

この日行われた総会で横山町長が会長に就任し「沼田農業の核となる人材を育成し、特性を活かした農作物のブランド化を図りたい」と述べました。



令和3年(2021年)主な出来事

- 3月 新ポイントカード「Numaca」が導入される(3/1)
- 3月 「夜高あんどん半纏」を中学3年生全員に贈呈(3/10)
- 3月 商工会創立100周年・工会青年部創立55周年記念式典挙行(3/10)
- 3月 山森星空さん(高1)が全日本ジュニアスキー技術選手権大会で5位入賞(3/26)
- 4月 農産加工場が「コーミ北のほたるファクトリー」に改名(4/1)
- 4月 新規就農受入のための「アグリファーム」を設立(4/1)
- 5月 新型コロナウイルスワクチン予防接種始まる(5/17)
- 6月 生活困窮大学生へ雪中米を贈る「キャンパスライス」プロジェクト始まる(6/1)
- 7月 飯田有音さん(旭実高3)、高体連女子バレー全道大会優勝、全国インターハイに出場
- 9月 「ゼロカーボンシティ宣言」が議会可決(9/16)
- 9月 タスマン(株)が旧柔剣道場に新工場開所(9/22)
- 10月 コロナ禍のためポートハーディとオンラインで交流(10/15)
- 11月 沼田町子ども議会(中学3年生)開催(11/4)
- 12月 ハイテクインター(株)北海道開発テストセンター竣工(12/16)

「住みたい田舎」2部門で全国1位に

2/3
NUMATA 2022

「田舎暮らしの本」で「住みたい田舎」3部門中2部門で全国1位北海道エリア全部門1位田舎暮らしの本(宝島社)2022年2月号に掲載された「住みたい田舎」ベストランキング企画で、沼田町が2部門で全国1位、北海道エリアは、すべての部門1位となりました。雑誌の編集長からは「子育て支援や歩いて暮らせるまちづくりにも熱心に取り組み人口に対する移住者の割合が高い」と評価されました。



5/4
NUMATA 2022

新型コロナウイルス蔓延により成人式を5月に開催

成人式には男性10名、女性10



9/11
NUMATA 2022

沼田町身体障害者福祉協会創立60周年記念式典

- 1月 町・北電・北電ネットワークとの大規模災害時の相互協力に関する基本協定締結(1/14)
- 2月 「田舎暮らしの本」で「住みたい田舎」3部門中2部門で全国1位(北海道エリア全部門1位)(2/3)
- 5月 コロナウイルス蔓延により成人式を5月に開催(5/4)
- 7月 輝け雪の町宣言20周年記念シンポジウム開催(7/15)
- 7月 第1回ほたるの里「夏のsnowマラニック」開催(7/30)
- 8月 全道中学校軟式野球大会で北空知選抜チーム(沼田3名選出)が優勝(8/11)
- 8月 小矢部市友好姉妹都市提携20周年記念式典(8/18)
- 8月 北海道マラソンで沼田の雪を会場に提供(8/28)
- 8月 JR留萌本線沿線の4自治体長が廃止に合意(8/30)
- 9月 沼田町身体障害者福祉協会創立60周年記念式典(9/11)
- 10月 沼田長生クラブ創立60周年記念式典(10/12)
- 11月 沼田町子ども議会(中学3年生)を開催(11/2)
- 11月 沼田に公設塾「みらい」がゆめつくるに開設される(11/25)
- 12月 沼田町で「北海道加工用トマト拡大協議会」設立(12/6)
- 12月 「ASHIMOIKANKO 高穂スキー場」リニューアルオープン(12/24)

10/12
NUMATA 2022

式典で山木会長は「今までこの会を築き上げてくれた方々に感謝申し上げたい。これからも協会が長く続くよう尽力していきます」と60年を振り返り挨拶し、その後の祝賀会では、町内各サークルの発表などで楽しいひと時を過ごしました。



町内に住む65歳以上の方々で構成されている沼田長生クラブ(菅沼繁会長)の創立60周年記念式典が健康福祉総合センターふれあい館で執り行われました。式典では、長生クラブでの長年の功績を讃え19名へ感謝状が贈呈されました。



7/30
NUMATA 2022



マラソンとピクニックを組み合わせたスポーツイベント「第1回ほたるの里夏のSNOWマラニック」を開催しました。

コースは10kmと28.5kmの2コースで、町内外から約130名のランナーと元スピードスケート選手の郷里里砂さんと鈴木靖さんがゲストランナーとして参加されました。ランナーは沼田町の田園風景を楽しみながら、10カ所設置された休憩所で沼田町の特産品を楽しみ、ゴールに設置された雪柱と雪氷桜で疲れた体を癒しました。

11/12
NUMATA 2022

沼田町子ども議会(中学3年生)を開催

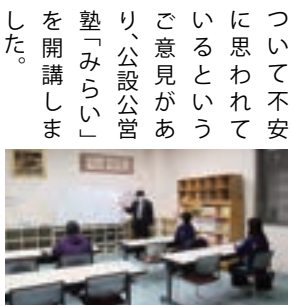


授業の中で学んでいた町議会について、実際の町議会場で町長に質問をぶつける「子ども議会」が、役場3階議場で行われました。

中学3年生は、実際の町議会のように調べてきた資料を町長に提示し、町長は丁寧に回答していました。

11/25
NUMATA 2022

沼田に公設塾「みらい」がゆめつくるに開設される



沼田学園が行った保護者アンケートで「学習習慣」などについて不安に思われているというご意見があり、公設公営塾「みらい」を開講しました。

8/18
NUMATA 2022

小矢部市友好姉妹都市提携20周年記念式典



富山県小矢部市との友好姉妹都市提携20周年を記念し、健康福祉総合センターふれあい式典を執り行いました。令和3年に式典を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により1年遅れての開催となりました。

8/30
NUMATA 2022

JR留萌本線沿線の4自治体長が廃止に合意



JR北海道が「単独では維持困難」と公表していたうちの1つ、留萌本線の廃止を決める合

中学3年生を対象に毎週水・金曜日の放課後に入試対策の授業を行っており、生徒たちは、真剣なまなざしで取り組んでいました。

12/6
NUMATA 2022

沼田町で「北海道加工用トマト拡大協議会」設立

道内の加工用トマト生産拡大・消費拡大を目指し、生産者、各企業、消費者からの要望などの受け皿として、課題を解決していくことを目的とした「北海道加工用トマト拡大協議会」の設立総会をほろしん温泉ほたる館で開催しました。

会長に就任した横山町長は協議会設立にあたり「道内加工用トマトの生産が北海道の農業基盤の一つとなれるよう取り組んでいきたい」と挨拶しました。

総会後には、3名の講師をお招きし、加工用トマト推進セミナーが行われ、品種特性や病害対策などについて講演いただきました。



12/24
NUMATA 2022

「ASHIMOIKANKO 高穂スキー場」リニューアルオープン



ネーミングライツの募集で名称が新しくなったリフト前でテブカットが行われました。

リフト一番乗りした沼田小4年生の林蓮空君と深川小3年生の嶋田楓翔君は、「1人乗りの時より心地よく乗れた。安全バーがあつて安心して乗れました」と話し、スキーを楽しんでいました。

ありがとう留萌本線ラストラン
次代を担う沼田っ子達が芽吹きだす

2/3
NUMATA 2023
「田舎暮らしの本」で
「住みたい田舎」全部門（4部門）で
全国1位獲得

田舎暮らしの本（宝島社）2023年2月号に掲載された「住みたい田舎」ベストランキングで、沼田町が「人口1万人未満のまち」で4つの部門、全てで全国1位に輝きました。

編集長は「生活満足度の高さに驚きました。暮らしやすさや子育てのしやすさなど幅広い取組をしている沼田町の住民は、東京よりも満足度が高そうです」と評価されました。



3/31
NUMATA 2023
JR「留萌本線」石狩沼田～留萌間ラストラン

多くの住民に愛された留萌本線の石狩沼田～留萌間（32・7キロ）が、令和5年3月31日で運行を終了し、明治43年11月23日の開通以来、113年の歴史に別れを告げました。



この日は、キハ54とキハ150型で特別に編成された4両の「ありがとう留萌本線」と書かれたウッドマークを付けた列車が運行されました。それぞれの駅には多くの町民や鉄道ファンが集まり、恵比島駅で行われた、最終20時54分発深川行列車の見送りでは、周辺住民が「ありがとう」と描かれた手作りの横断幕をかかげ、通学などに利用した留萌本線に感謝の気持ちを伝えました。

4/1
NUMATA 2023
ほろしんの森に「そらち自然学校」開校



地域資源を活かして、地域ブランドの醸成や情報発信などあらゆる世代の町民や地域外の人々が集い学びあう、交流滞在拠点「そらち自然学校」が4月1日開設されました。

「そらち自然学校開校イベント」には約40名が参加し、開校にあたり横山町長は「たくさんの方が訪れ、自然体験を通して国内外に沼田町を発信し、町と共に発展していけるように協力願います」と挨拶されました。

6/11
NUMATA 2023
沼田ライオンズクラブ
認証60周年記念式典

沼田ライオンズクラブ（生沼篤司会長の認証60周年記念式典が町民会館にて開催されました。

沼田ライオンズクラブは、昭和37年に結成され、毎年交通安全の啓発や環境美化活動等を行い、令和4年には、沼田小・中学校へ大型スクリーンを寄贈するなど地域に密着した奉仕活動を展開しています。

生沼会長は「環境美化や青少年の育成など積極的に活動してきました。今後もオールぬまたの一員として、奉仕の心をさらに高めながら地域を盛り上げたい」と挨拶されました。



7/2
NUMATA 2023
町民体育祭が50回目

今年で50回目の開催となる町民体育祭が沼田小学校グラウンドで開催されました。



天候に恵まれ絶好の体育祭日和となったこの日は、約400名の町民が、行政区ごと8組に分かれ、「大玉コロリン」や「急いで満タン」など4種目で得点を競いました。

全種目で2位だった緑組が第50大会の総合優勝に輝き、第41回から中止を挟みながら6連覇を達成しました。

また、昨年から開催されている各組の得点に影響しない最速王決定戦や今大会が初の試みとなる玉入れが行われ、子どもから高齢者が参加し、世代間で交流を深めました。

9/14
NUMATA 2023
ファーストウッド
木育事業始まる



木製のおもちゃと食器を贈る「おめでとう赤ちゃん」ファーストウッド木育事業の

贈呈式が開催されました。

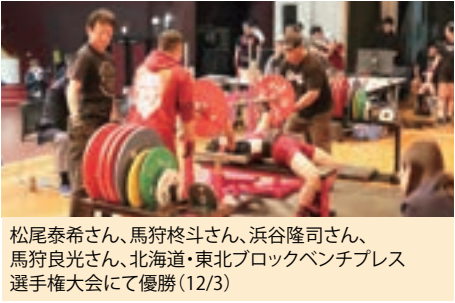
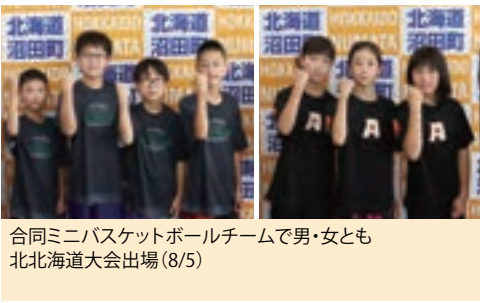
本年度から始まったこの事業は、新生児の誕生のお祝い



1～12
NUMATA 2023
沼田っ子、続々と
全道・全国大会へ

と、豊かな森や自然とふれあい健やかに成長していくことを願い、乳幼児から使用できる木製のドーナツ型のおもちゃとお子さんの名前と誕生日が刻印された木製のボウルとスプーンを贈るもの。

横山町長は「家族と一緒に健やかに成長していくてくさい」と話し、2組の親子へおもちゃと食器を手渡されました。



令和5年（2023年）主な出来事

- 1月 山森星空さん（高3）が全日本スキー技術選手権大会出場（1/27）
- 2月 「田舎暮らしの本」の「住みたい田舎」全部門（4部門）で全国1位獲得（2/3）
- 2月 第34回昭和山国際雪合戦にてチーム「NMT」が準優勝（2/26）
- 3月 馬狩柊斗君（中3）パワーリフティング選手権全国大会でクラス3位入賞（3/17）
- 3月 JR「留萌本線」石狩沼田～留萌間ラストラン（3/31）
- 4月 ほろしんの森に「そらち自然学校」開校（4/1）
- 4月 第一寛亭留による「ほろしん温泉」の営業開始（4/8）
- 6月 沼田ライオンズクラブ認証60周年記念式典（6/11）
- 6月 交通事故死ゼロ4000日達成（6/22）
- 7月 町民体育祭が50回目（7/2）
- 7月 原田楓さん（中3）北海道中学校柔道大会にて準優勝（7/28）
- 8月 合同ミニバスケットボールチームで男・女とも北海道大会出場（8/5）
- 8月 合同バレーボールチームで渡辺悠乃くん全国小学生大会出場（8/7）
- 8月 化石体験館開館15周年ナイトミュージアム開催（8/11）
- 8月 全道中学生軟式野球大会に大山凛人さん、塩田禅さんが北空知選抜チームで出場し優勝（塩田さん最優秀選手賞）（8/11）
- 8月 川嶋琉姫さん、全国高校選抜女子バレーボールチームに選出（8/29）
- 9月 ファーストウッド木育事業始まる（9/14）
- 9月 全日本少年春季軟式野球大会に松尾泰希さんが北空知連合チームで優勝（9/16）
- 10月 沼田町バスケット連盟60周年事業（10/8）
- 10月 あるくらす団地A棟完成入居始まる
- 10月 川嶋琉姫さん（高3）国民体育大会バレーボール出場（10/11）
- 12月 第1回北海道・東北ブロックベンチプレス選手権大会で、松尾泰希さん（53kg級）、馬狩柊斗さん（59kg級）、浜谷隆司さん（66kg級）、馬狩良光さん（83kg級）が優勝（12/3）

令和6年(2024年)主な出来事

- 1月 能登半島地震の被災地にトイレトレーラー派遣(1/20)
- 2月 「田舎暮らしの本」の「住みたい田舎」シニア世代部門で全国1位獲得(2/3)
- 2月 昭和新山国際雪合戦で沼田チーム「NMT」が優勝(2/25)
- 3月 馬狩柊斗さん(高1)パワーリフティング選手権全国大会でクラス優勝(3/2)
- 3月 伊藤千咲さん(小4)スキー全道キッズ選手権大回転の部で優勝(3/3)
- 5月 中学校女子バレー合同チーム道選抜優勝大会に出場(5/3)
- 5月 松尾奏佑さん北海道中学軟式野球大会に出場(5/11)
- 6月 台湾花蓮県瑞穂郷と友好交流協定を締結(6/20)
- 6月 クラフトビール工場建設始まる(6/24)
- 8月 渡辺悠乃さん全日本バレーボール小学生大会出場(8/6)
- 9月 馬狩柊斗さん(高2)がパワーリフティング世界大会出場(9/1)
- 10月 沼田町開拓130年式典を挙(10/29)
- 11月 リトルポプラ小学生バレーボール道北ブロック大会出場(11/2)
- 12月 松尾奏佑さん全日本小学生野球選手権大会出場(12/7)
- 12月 渡辺悠乃さん全国スポーツ少年団バレーボール大会出場(12/27)



雪合戦チーム「NMT」
昭和新山国際雪合戦優勝(2/25)

2~12
NUMATA 2024

沼田っ子、躍進続く！



中学校女子バレーボール合同チーム
道選抜優勝大会出場(5/3)



伊藤千咲さん(小4)
スキー全道キッズ選手権大回転の部優勝(3/3)



馬狩柊斗さん(高1)
パワーリフティング選手権全国大会クラス優勝(3/2)



馬狩柊斗さん(高2)
パワーリフティング世界大会出場(9/1)



渡辺悠乃さん
全日本バレーボール小学生大会出場(8/6)



松尾奏佑さん
北海道中学軟式野球大会出場(5/11)

多田京志郎さん
全日本小学生
野球選手権大会
出場(12/7)



沼田リトルポプラ 北海道小学生バレーボール選抜優勝大会出場(1/11)



リトルポプラ 北海道小学校バレーボール道北大会出場(11/2)

渡辺悠乃さん
全国スポーツ少年団
バレーボール大会と
北海道小学生
バレーボール選抜
優勝大会出場(12/27)



台湾花蓮県瑞穂郷と
沼田町は友好交流協定を締結
いたしました。
締結式はオンラインで行わ
れ、横山町長をはじめ、台北駐
日経済文化代表処の謝長廷
(しゃちようてい)代表や瑞穂郷
からは呉萬徳(ごまんとく)郷
長らが出席されました。
今回の協定は、自然豊かな地
域で、良質な米や畑作物の産地
など、共通の特色がある瑞穂郷
と地域資源や文化、伝統芸能を

6/20
NUMATA 2024

台湾花蓮県瑞穂郷と
友好交流協定を締結



6/24
NUMATA 2024

クラフトビール工場
建設始まる

道内初となる公設民営のク
ラフトビール工場の安全祈願
祭が行われました。
クラフトビール工場は、地域
の新たな観光資源や雇用の創

より深く理解し、お互いの発展
に向けた連携や日台青少年交
流を促進することなどを目的
としており、横山町長は「雪国
体験や夜高あんどん祭りなど
の伝統芸能、未来を担う青少年
交流を進めていきたい」と話さ
れました。



7/26
NUMATA 2024

第50回
町民いこいの広場

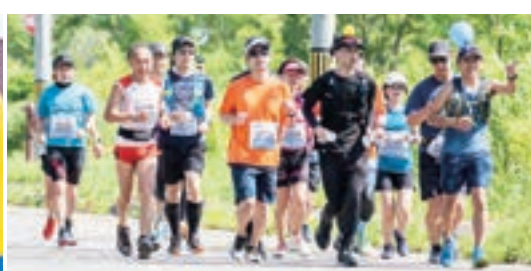
商工会青年部(木村拓哉部
長)主催による第50回町民いこ
いの広場が駅前とむとむ広場
で開催されました。
認定こども園の園児たちに
よる太鼓の演舞が行われたほ
か、N・Linkによるゲーム



では子ども達の活躍に会場か
らはたくさんの声援が送られ
ました。
その後は、子ども盆踊りが始
まり、終了後には子どもたちに
手持ち花火が配られ、家族や友
達と花火を楽しみ、夏休みのひ
とときを満喫していました。

開拓130年を祝して各種記念事業を開催

沼田町開拓から130年を迎え、先人たちの労苦を偲び、伝統・文化・財産を糧に更なる飛躍を願い、全町民と喜びを分かち合うために様々な記念事業を開催しました。



令和6年 沼田町開拓130年記念事業

- 4月25日・沼田町開拓記念式
- 6月11日・HTB onちゃんおはよう体操及び撮影会
- 7月7日・町民スポーツまつり
- 7月11日・沼田町長杯争奪パークゴルフ大会
- 7月11日～13日・HTBここキャン北海道
- 7月20日・沼田町はたるの里夏のSNOWマラニック
- 8月9日・イエロースタース小中学生バレーボール教室
- 8月22日・夜高あんどん祭り前夜祭
- 8月22日・沼田町・ボートハーディ姉妹都市提携30周年記念式典
- 9月13日～14日・恵比島駅 高山広ひとり芝居
- 10月6日・明日萌の里・はたるの里ウォーキング
- 10月29日・沼田町開拓130年記念式典
- 10月29日・旭川自衛隊音楽隊演奏会
- 11月4日・沼田町ふるさと大使「細坪基佳氏」50周年記念コンサート
- 12月27日・台湾花蓮県瑞穗郷訪問団受入事業
- 1月26日・HSBAスノーボードGS大会
- 2月11日・エンジョイ!SNOWSPORTS in TAKAHO
- 3月23日・NHK北海道スポーツワNDER(卓球:平野早矢香氏指導)
- 3月23日・芸術文化鑑賞事業(卓球:平野早矢香氏講演会)

4.25 沼田町開拓記念式

本年開拓130年を迎え、役場開拓記念碑前にて開拓記念式が挙行されました。

参加者は、これまでの先人の御労苦を偲び、本町の更なる発展を祈願しました。

6.11 HTB onちゃんおはよう体操及び撮影会

北海道テレビ放送(HTB)の人気キャラクター「onちゃん」が、沼田認定こども園を訪れ、TVの録画撮影を行いました。「onちゃん」が登場すると園児たちは大喜びで元気いっばいに体操を披露しました。

7.20 はたるの里夏のSNOWマラニック2024

マラソンとピクニックを組み合わせた「夏のSNOWマラニック2024」が開催されました。

大会には町内外から258名のランナーが参加し、ゲストと共に沼田の特産品や夏の景色を大いに満喫していました。

8.22 沼田町・ボートハーディ姉妹都市提携30周年記念式典

カナダ・ボートハーディ地区からバット・コーベットラバット市長ら9名が本町を訪れ、宣言文の調印と贈り物を交換し、これまでの友好関係を祝い、未来への更なる発展を誓いました。

8.22 夜高あんどん祭り前夜祭

夜高あんどん祭りの前夜祭が開かれました。沼田夜高太鼓の演奏、沼田町出身のお笑い芸人のライブ等が行われ、会場は終始笑顔で、最後は「ヨイヤサ」の掛け声で祭りの成功を願いました。

9.13-14 恵比島駅 高山広ひとり芝居

明日萌駅を舞台に一人芝居が開催されました。これは、明治43年の開業から廃線までの旧恵比島駅の歴史を振り返るもので、観劇された方々は高山氏の迫力ある演技と世界観に、しみじみと恵比島駅の歴史を感じていました。

130th
anniversary
commemoration
event
Photo
Gallery

130年記念イベントギャラリー



10.29
開拓130年
記念式典

開会前に、「沼田町130年。そしてここから」のビデオ上映と、沼田学園児童生徒の合唱が行われ、開会後に沼田中学校代表の中村浩君と川嶋惺南さんが町民憲章を朗唱し、金平嘉則氏への名誉町民称号贈呈を始め、功労者表彰や各賞が贈呈されました。沼田喜三郎翁の出身地、富山県小矢部市長桜井森夫（さくらいもりお）氏から記念品の贈呈と、「これからも沼田町と永く絆を深めていきたい」と祝辞を述べられました。

11.4
ふるさと大使
「細坪基佳氏」
50周年記念コンサート

細坪氏は沼田町出身のフォークシンガーで「ふきのとう」のメンバーとしても活躍され世代を超えて多くの人々に愛されています。コンサートでは、沼田町ふるさとコーラス隊との共演が実現し、細坪氏は「60周年記念でまたお会いしましょう」と挨拶され、会場は大きな拍手に包まれました。

2.11
エンジョイ！
スノースポーツin
TAKAHO

開拓130年を記念して、日

本を代表するモーグルスキーヤーとスノーボーダー（ハーフパイプ）で活躍されている2名の講師によるスキー・スノーボード教室が開催されました。参加者は一人ひとり、講師から滑る際の姿勢や重心の掛け方などの直接指導を受け、思い出に残る貴重な一日となりました。

3.23
NHK北海道スポーツ
ワンデー
「卓球・平野早矢香氏」

ロンドンオリンピック銀メダリストで元卓球日本代表の平野早矢香さんをお招きし、NHKスポーツワンデー「卓球教室」が開催されました。町内外の小中学校の卓球部員や未経験者の子ども達が参加し、直接平野さんの指導を受ける貴重な機会となりました。

3.23
芸術文化鑑賞事業
「卓球・平野早矢香氏」

「昨日の自分より一歩前へ」卓球から学んだ挑戦することの大切さ」と題し、平野早矢香さんの講演会が開催されました。

平野さんは、自身の卓球人生を振り返り、世界を目指す中で味わった挫折や苦悩を乗り越えて来た経験を話され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

農業

1.産米出荷状況

年次	出荷量(俵)	1等米出荷比率(%)	作況指数(北空知)	1反当たりの収穫量(Kg)
平成26年	241,878.0	100	107	618
平成27年	234,936.5	100	103	613
平成28年	211,887.0	100	102	537
平成29年	232,829.5	100	103	586
平成30年	198,056.5	100	90	493
令和元年	226,061.5	100	105	568
令和2年	248,613.0	100	107	611
令和3年	254,973.0	100	108	630
令和4年	249,088.5	100	106	620
令和5年	223,569.0	100	102	557

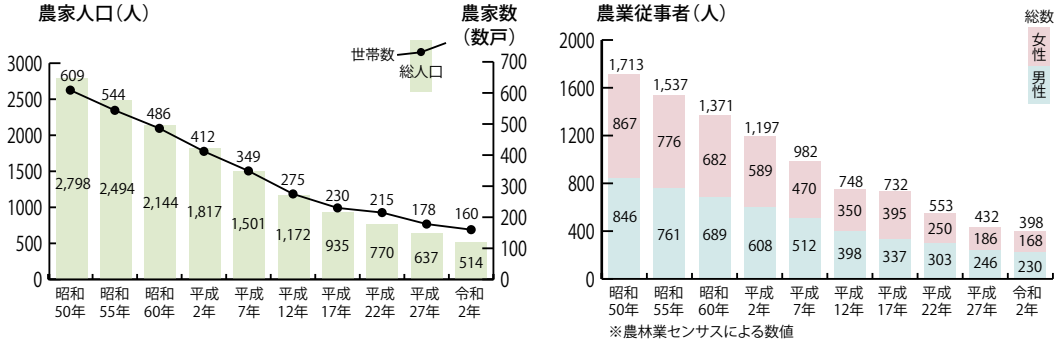
2.農作物作付面積と収穫量(令和5年度)

作物名	面積(単位:ha)	収穫
水 稻	2,409.20	223,569俵
そば	627.20	4,852俵
秋小麦	315.00	22,883俵
大豆(共計)	193.90	7,228俵
甜 菜	26.20	1,379 t
花 卉	13.26	50,756cs

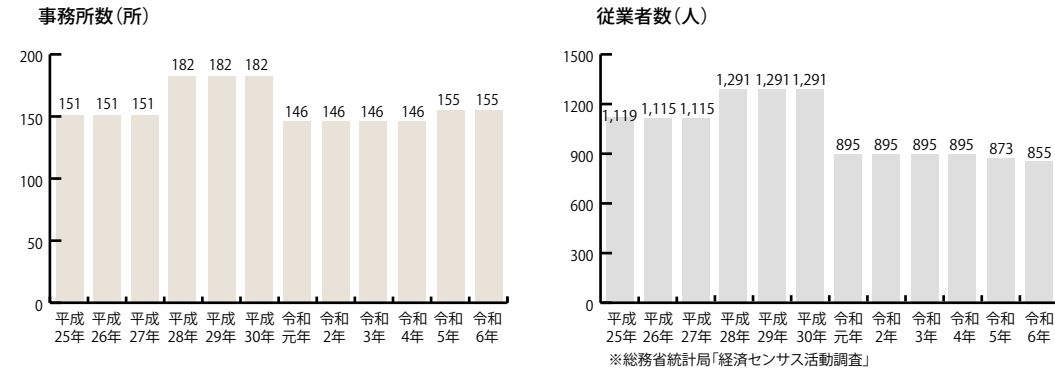
※JA北いぶき農業協同組合 決算資料による
(加工用トマトは、コーミ園による)

作物名	面積(単位:ha)	収穫
ブロッコリー	13.23	22,532kg
加工用トマト	6.22	330.4 t
馬鈴薯	4.98	183,817kg
メロン	1.15	14,792kg
南瓜	0.73	10,407kg
ミニトマト	0.47	20,107kg

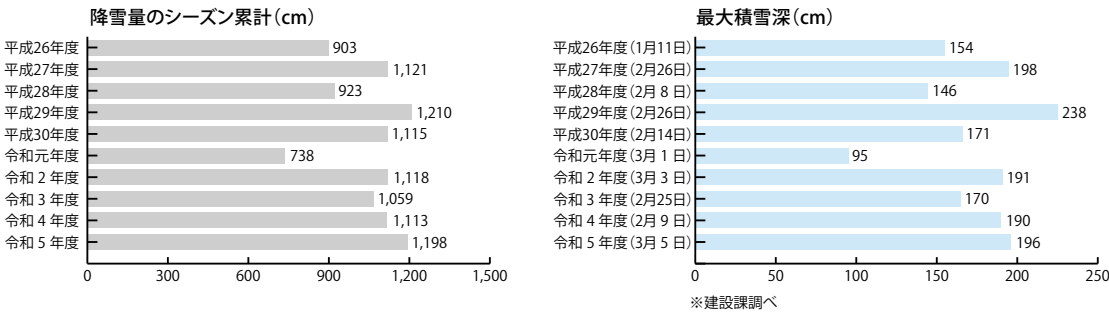
農家戸数



商工業の状況



積雪降雪



防災

1.交通事故発生状況

年次	件数	死者	負傷者	交通事故死ゼロ
平成26年	3	-	3	
平成27年	3	-	3	1,000日達成(4/4)
平成28年	1	-	1	1,500日達成(8/16)
平成29年	2	-	2	2,000日達成(12/29)
平成30年	0	-	0	
令和元年	0	-	0	2,500日達成(5/13)
令和2年	1	-	2	3,000日達成(9/24)
令和3年	1	-	3	
令和4年	0	-	0	3,500日達成(2/6)
令和5年	0	-	0	4,000日達成(6/21)
令和6年	1	-	2	4,500日達成(11/2)

※住民生活課調べ

2.救急出動状況

年次	一般	交通事故	計
平成26年	100	6	106
平成27年	97	6	103
平成28年	95	6	101
平成29年	108	6	114
平成30年	131	5	136
令和元年	135	8	143
令和2年	89	6	95
令和3年	118	6	124
令和4年	138	2	140
令和5年	146	4	150
令和6年	150	5	155

3.火災発生状況

年次	火災件数					焼失棟数			
	総数	建物火災	林野火災	車両	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや
平成26年	3	1	-	1	1	-	-	-	1
平成27年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成28年	3	2	-	-	1	1	-	-	1
平成29年	3	2	1	-	-	-	-	-	2
平成30年	1	1	-	-	-	-	-	-	1
令和元年	1	-	-	1	-	-	-	-	-
令和2年	3	3	-	-	-	2	-	1	-
令和3年	4	1	-	1	2	1	-	-	-
令和4年	2	-	-	-	2	-	-	-	-
令和5年	2	1	-	1	-	1	-	-	-
令和6年	1	1	-	-	-	-	-	1	-

※深川地区消防組合沼田支署調べ

位置と面積

- 面積／283.35km²(東西16km・南北20km)
- 位置／北緯43°46'～44°00'東経141°52'～142°05'
- 隣接市町／留萌市・深川市・小平町・秩父別町・北竜町

沼田町の面積の変遷

年次	面積(km ²)	変遷理由
大正3年	747.00	上北竜村として分村独立
大正7年～	361.16	雨竜川右岸、上北竜村北部地区を幌加内村として分村
昭和18年～	287.99	北竜村及び多度志村と境界変更
昭和47年～	287.17	秩父別町と境界変更
平成3年～	283.28	測量法に基づく基本測量の成果
平成9年～	283.21	国土地理院調査
平成28年～	283.35	測量法に基づく基本測量の成果

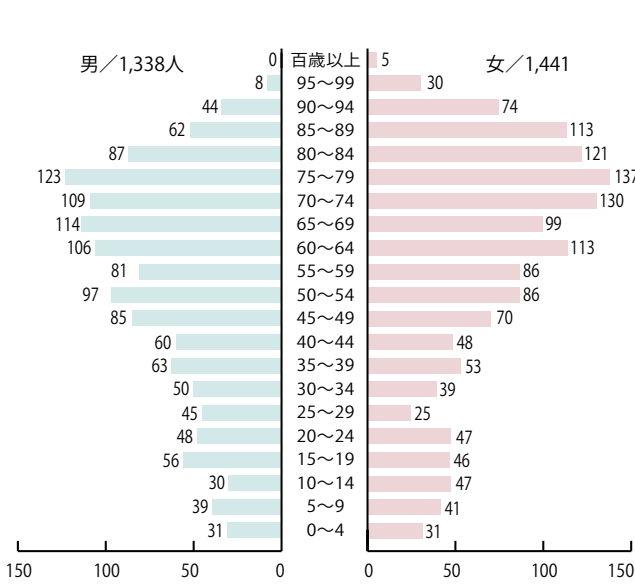
地目別土地面積

区分	総面積	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
北海道	76,241.57	2,386.71	8,982.13	1,250.09	212.05	38,778.83	1,559.80	4,107.88	1,374.32	17,589.76
空知総合振興局	5,789.00	937.99	214.63	121.46	16.27	2,424.77	18.27	207.49	140.28	1,707.82
沼田町	283.35	31.46	9.68	2.26	0.24	195.12	2.46	8.24	3.42	30.47

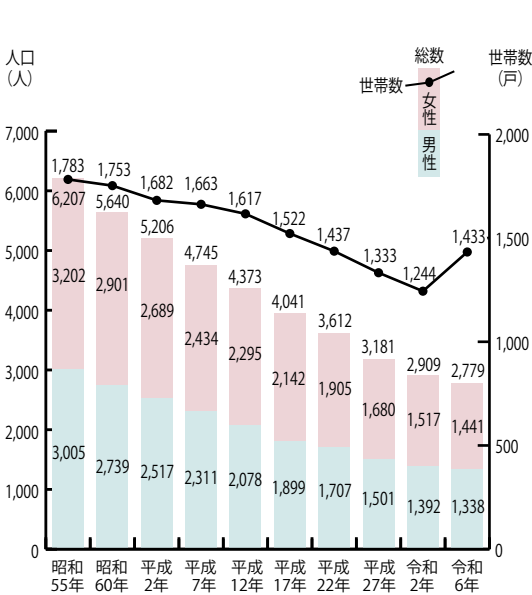
単位: km²
第131回(令和6年)北海道統計書の数値

人口

1.沼田町年齢別人口(住民基本台帳令和7年1月31日現在)



2.沼田町人口の推移(国勢調査 令和6年のみ住民基本台帳)



3.沼田町人口動態

年次	自然動態			社会動態				道内異動		道外異動		社会動態		3月末人口
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	人口増減	転入	転出	転入	転出	その他増	その他減	
平成26年度	17	44	▲27	86	168	▲82	▲109	76	150	10	18	3	-	3,266
平成27年度	19	56	▲37	115	136	▲21	▲58	100	126	15	10	-	-	3,208
平成28年度	13	52	▲39	111	130	▲19	▲58	98	112	13	18	4	-	3,154
平成29年度	20	68	▲48	119	105	14	▲34	107	96	12	9	-	-	3,120
平成30年度	17	59	▲42	102	127	▲25	▲67	85	110	17	17	-	-	3,053
令和元年度	12	68	▲56	102	117	▲15	▲71	82	106	20	11	-	-	2,982
令和2年度	17	33	▲16	122	136	▲14	▲30	93	120	29	16	-	-	2,952
令和3年度	12	54	▲42	101	98	3	▲39	84	82	17	16	-	-	2,914
令和4年度	4	61	▲57	96	106	▲10	▲67	84	93	12	13	-	-	2,847
令和5年度	14	59	▲45	93	101	▲8	▲53	75	84	18	17	-	-	2,794

※資料:住民基本台帳

名誉町民等

1.名誉町民

沼田町名誉町民	称号贈呈年月日	備考
青陽松太郎 氏	昭和41年4月25日	No. 1
宮脇 吉春 氏	昭和50年6月20日	No. 2
西森 翼 氏	昭和58年6月30日	No. 3
浅野 常蔵 氏	平成5年9月21日	No. 4
津川 直一 氏	平成5年9月21日	No. 5
篠田 久雄 氏	平成11年12月16日	No. 6
吉住 敏夫 氏	平成14年6月21日	No. 7
吉田 好宏 氏	平成20年3月11日	No. 8
岡田 静夫 氏	平成20年3月11日	No. 9
西田 篤正 氏	令和2年4月25日	No.10
金平 嘉則 氏	令和6年10月29日	No.11

2.特別功労者

沼田町特別功労者	表彰年月日
樋口 鉄一 氏	平成13年4月25日表彰
沼田 忠 氏	平成14年4月25日表彰
酒井 恵雲 氏	平成14年4月25日表彰
石田 弘 氏	平成15年4月25日表彰
上机 榮 氏	平成15年4月25日表彰
千田 猛 氏	平成15年4月25日表彰
浦田 敬一 氏	平成16年4月25日表彰
坂本 弘行 氏	平成16年4月25日表彰
吉田 俊一 氏	平成17年4月25日表彰
津川 信子 氏	平成18年4月25日表彰
村井 正樹 氏	平成19年4月25日表彰
常本 幸一 氏	平成19年4月25日表彰
媚山 政良 氏	平成20年3月21日表彰
岩寺 一之 氏	平成22年4月25日表彰
橋場 守 氏	平成24年4月25日表彰
久保 寛 氏	平成26年4月25日表彰
渡部 稔 氏	平成30年4月25日表彰
野 道夫 氏	令和3年4月25日表彰
杉本 邦雄 氏	令和 6年10月29日表彰
木村 方一 氏	令和 6年10月29日表彰

3.地方自治法町政施行50周年記念(自治功労)

吉尾 政春 氏	山木 一男 氏	千葉 繁 氏	西田 篤正 氏
谷口 清治 氏	中村 進 氏	寺本 博昭 氏	篠田 繁彦 氏
横山 峯生 氏	伊藤 初 氏	小倉 太郎 氏	久本 博美 氏

4.開基110年記念(自治功労)

土田 武 氏	工藤 繁勝 氏	中島 隆 氏
麻生 忠夫 氏	吉井 昭一 氏	栗中 剛 氏

開基110年記念(特別功労)

細川友次郎 氏	村井 正樹 氏	岩沢 定男 氏	稲垣 秀行 氏
松田眞一郎 氏	小西 克仁 氏	高松 慶子 氏	近藤 邦彦 氏
原 稔 氏	山本 秀雄 氏	金谷 健一 氏	藤崎 亨 氏

9.歴代特別職 (開拓120年記念誌以降)

町 長	在職期間
金平 嘉則	平成23年5月1日～平成31年4月30日
横山 茂	令和元年5月1日～現在

5.自治功労者・産業功労者・社会功労者

自治・産業・社会功労者	表彰年月日
藤間 武 氏 (自治)	平成22年4月25日
野 道夫 氏 (自治)	平成23年4月25日
室田 敏朗 氏 (自治)	
横山 忠男 氏 (自治)	平成24年4月25日
中山 勝 氏 (自治)	
高松 慶子 氏 (自治)	平成25年4月25日
植木 和美 氏 (自治)	
山田 英次 氏 (自治)	平成27年4月17日
堀田 輝幸 氏 (産業)	
日暮 茂男 氏 (自治)	平成28年4月25日
絵内 勝己 氏 (自治)	
上野 敏夫 氏 (自治)	
渡邊 健三 氏 (社会)	平成29年4月25日
杉本 邦雄 氏 (自治)	令和2年4月25日
渡邊 敏昭 氏 (自治)	
小泉 清彦 氏 (産業・社会)	令和3年4月25日
大原 正己 氏 (社会)	令和4年4月25日
坂本 久和 氏 (産業)	
石田 隆広 氏 (産業)	
高田 勲 氏 (産業・自治)	
松田 剛 氏 (自治)	令和6年10月29日
山岡 禎弘 氏 (自治)	
辻 則行 氏 (自治)	

6.町政貢献賞

沼田町町政貢献者	表彰年月日
株式会社社力ネ力 菅原 公一 氏	令和6年10月29日表彰

7.栄誉賞

沼田町栄誉者	贈呈年月日
寺島 実郎 氏	平成22年2月25日

8.叙勲受章者

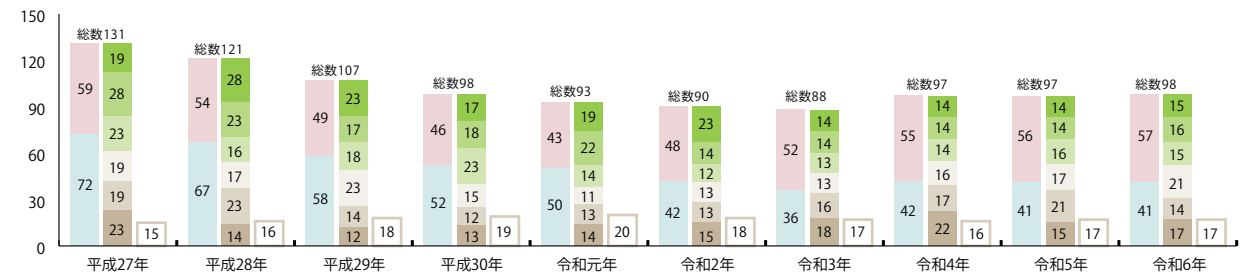
叙勲受章者		
川辺 吉次 氏	勲六等瑞宝章	平成6年4月29日 (雨竜川達布水位観測員)
長澤 龍瑛 氏	勲五等瑞宝章	平成7年4月29日 (保護司)
石田 弘 氏	勲五等瑞宝章	平成9年4月29日 (土地改良区理事長)
浅野 常蔵 氏	勲六等単光旭日章	平成12年3月1日 (元町議会議員)
井田 光次 氏	勲六等単光旭日章	平成13年6月1日 (元町議会議員)
神田 光男 氏	勲六等瑞宝章	平成14年4月29日 (元雨竜川達布橋水位観測員)
山本 七郎 氏	藍綬褒章	平成14年4月29日 (行政相談委員)
吉住 敏夫 氏	紺綬褒章	平成14年4月25日伝達 (多額寄附)
坂本 弘行 氏	勲五等双光旭日章	平成14年11月3日 (元町議会議員)
鷲尾 稔 氏	瑞宝双光章	平成16年11月3日 (元消防団長)
故土田 武 氏	旭日単光章	平成17年3月28日 (元町議会議員)
故吉田俊一 氏	旭日双光章	平成19年4月4日 (元町議会議員)
千田 猛 氏	旭日双光章	平成19年4月29日 (元町議会議員)
植田 秀雄 氏	藍綬褒章	平成19年4月29日 (工業統計調査員)
酒井 恵雲 氏	旭日双光章	平成20年4月29日 (元教育委員)
加賀谷嘉照 氏	旭日単光章	平成21年2月1日 (元町議会議員)
小西 義光 氏	藍綬褒章	平成21年5月19日 (保護司)
佐々木外史雄 氏	瑞宝単光章	平成22年11月3日 (元消防副団長)
岩寺 一之 氏	旭日単光章	平成23年4月29日 (元代表監査委員)
篠田 久雄 氏	旭日小綬章	平成24年4月29日 (元町長)
上机 榮 氏	旭日双光章	平成25年2月1日 (元町議会議員)
久保 寛 氏	旭日双光章	平成25年4月29日 (元町議会議員)
堀田 輝幸 氏	旭日双光章	平成25年11月3日 (土地改良区理事長)
渡部 稔 氏	瑞宝双光章	平成25年11月3日 (元消防団長)
小泉 清彦 氏	瑞宝単光章	平成27年11月3日 (元消防副団長)
故横山峯生 氏	旭日単光章	平成29年 8月 1日 (元町議会議員)
土肥 芳子 氏	瑞宝双光章	平成29年11月 3日 (保護司)
故山田英次 氏	旭日単光章	平成30年 1月29日 (元町議会議員)
渡邊 健三 氏	瑞宝単光章	平成30年11月 3日 (元消防団長)
西田 篤正 氏	旭日双光章	令和 2年 4月 29日 (元町長)
植田 秀雄 氏	瑞宝単光章	令和 2年 4月29日 (統計調査員)
絵内 勝己 氏	藍綬褒章	令和 2年 4月29日 (保護司)
吉田 好宏 氏	旭日単光章	令和 2年 6月 1日 (元町議会議員)
宮脇 敏一 氏	紺綬褒章	令和 2年 6月27日 (多額寄附)
野 道夫 氏	旭日単光章	令和 2年 8月 1日 (元町議会議員)
谷口 清治 氏	旭日単光章	令和 2年11月 1日 (元町議会議員)
杉本 邦雄 氏	旭日双光章	令和 2年11月 3日 (元町議会議員)
森谷 一明 氏	瑞宝単光章	令和 2年11月 3日 (元消防第3分団長)
鵜野 春男 氏	瑞宝単光章	令和 3年 4月 1日 (元消防副団長)
故横山忠男 氏	旭日単光章	令和 4年 6月 8日 (元町議会議員)
大原 正己 氏	瑞宝双光章	令和 4年11月 3日 (元消防団長)
吉住 淳男 氏	藍綬褒章	令和 5年 4月29日 (商工会長)
故絵内勝己 氏	旭日単光章	令和 6年 1月10日 (元町議会議員)
野 友城 氏	瑞宝単光章	令和6年4月1日 (元消防副団長)

教育

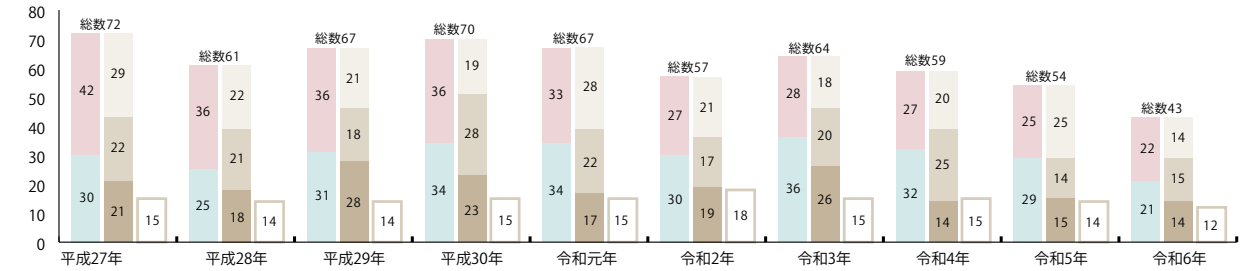
1.児童・生徒・教員状況



□町立沼田小学校

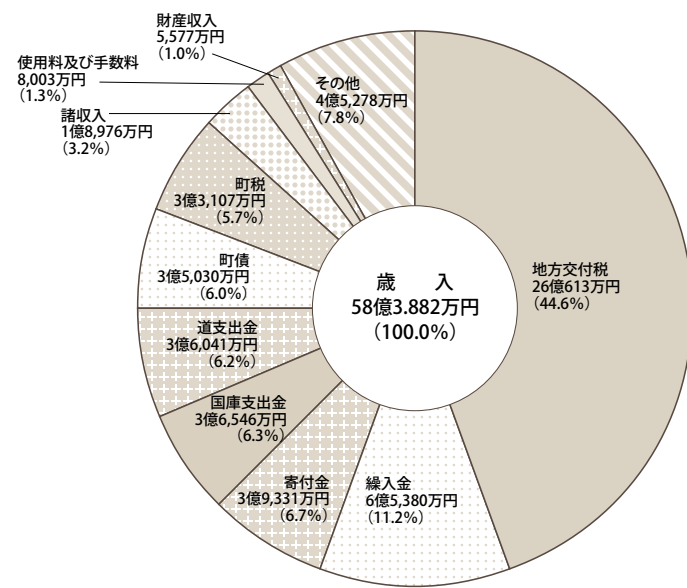


□町立沼田中学校



財政

1.一般会計決算状況(令和5年度)



2.特別会計決算状況(令和5年度)

会計区分	歳入	歳出
養護老人ホーム	3億7,578万円	3億5,936万円
特別養護老人ホーム	3億9,640万円	3億9,640万円
高齢者グループホーム	5,056万円	5,056万円
介護保険	3億4,352万円	3億2,142万円
国民健康保険	4億7,622万円	4億5,874万円
後期高齢者医療	7,154万円	7,136万円
公共下水道	2億 13万円	1億5,947万円
水道事業	1億3,934万円	1億4,295万円
収益的	6,240万円	7,288万円
資本的		

2.姉妹都市の状況

都 市 名	提携年月日
カナダ・ブリティッシュコロンビア州ポートハーディ地区	平成 6年9月 3日
富山県小矢部市	平成13年8月24日

3.友好交流協定の状況

都 市 名	提携年月日
台湾花蓮県瑞穗郷	令和 6年6月20日

沼田町開拓130年記念映像

開拓時代や炭鉱最盛期の貴重な写真から、現在の沼田が誇る多彩な特産品まで――。
『夜高あんどん祭り』はもちろん『ほたるの里 夏のSNOWマラニック』他
開拓130年記念事業の様子を含め、未来へ歩み続けるまちの足跡を編集しました。
ふるさと・沼田町ならではの特別な魅力を次の世代へ映像で伝える動画となっています。
スマートフォンまたはパソコンで視聴できますのでぜひご覧ください。



 スマートフォンで上のコードを
お読み頂きご覧ください。

 パソコンは下のURLから。

<https://www.town.numata.hokkaido.jp/section/soumu/t7ks5q0000000432.html>

行政委員

10.議会議員 (敬称略・順不同)

第26回 平成23年5月1日～平成27年4月30日 定数10	第27回 平成27年5月1日～平成31年4月30日 定数10	第28回 令和元年5月1日～令和5年4月30日 定数10	第29回 令和5年5月1日～令和9年4月30日 定数10
杉本 邦雄(5期目)議長 絵内 勝己(4期目) 津川 均(3期目)副議長 上野 敏夫(3期目) 中村 保夫(3期目) 渡邊 敏昭(2期目) 高田 勲(2期目) 長原 誠(1期目) 鶴野 範之(1期目) 久保 元宏(1期目)	橋場 守(10期目) 杉本 邦雄(6期目) 大沼 恒雄(5期目) 津川 均(4期目) 渡邊 敏昭(3期目)議長 高田 勲(3期目)副議長 長原 誠(2期目) 鶴野 範之(2期目) 久保 元宏(2期目) 小峯 聡(1期目)	大沼 恒雄(6期目) 高田 勲(4期目) 上野 敏夫(4期目) 鶴野 範之(3期目)副議長 久保 元宏(3期目) 小峯 聡(2期目)議長 長野 時敏(1期目) 篠原 暁(1期目) 畑地 誉(1期目) 伊藤 淳(1期目)	大沼 恒雄(7期目) 上野 敏夫(5期目) 鶴野 範之(4期目) 久保 元宏(4期目) 小峯 聡(3期目)議長 長野 時敏(2期目) 篠原 暁(2期目) 畑地 誉(2期目)副議長 伊藤 淳(2期目) 三浦 実希(1期目)

11.農業委員会委員 (敬称略・順不同)

平成26年【第22回】 (平成26年7月20日～平成29年7月19日)	平成29年【第23回】 (平成29年7月20日～令和2年7月19日)	令和2年【第24回】 (令和2年7月20日～令和5年7月19日)	令和5年【第25回】 (令和5年7月20日～令和8年7月19日)
山岡 禎弘<会長> 辻 則行<会長代理> 岡田 聖人(～H27.2.19) 中田 一之(H27.2.20～) 篠永 諭 澤田 彰 黒田 薫 大丸 俊光 荒木 勉 多田 利春 宮脇 英樹 鷲尾 昭徳 大岩 龍一	辻 則行<会長> 澤田 彰<会長代理> 宮脇 英樹 鷲尾 昭徳 大岩 龍一 中田 一之 辻 廣治(～H30.9.30) 小峯 康則(H30.10.1～) 中西 範行 吉村 輝英 杉森 司 宮田 茂樹 中村 宗寛	辻 則行<会長> 中村 宗寛<会長代理> 中西 範行 宮田 茂樹 杉森 司 小峯 康則 藤村 直幸 浦田 忠 堀田 勝 谷口 修一 辻 幸一 吉田 春美 青木 和幸 吉本 祐司 高橋 博紀 瀧本 則光	中村 宗寛<会長> 和泉 浩司<会長代理> 中西 範行 浦田 忠 堀田 勝 谷口 修一 辻 幸一 吉田 春美 青木 和幸 吉本 祐司 高橋 博紀 瀧本 則光

12.教育委員会委員

(法律改正に伴いH28.10.5以降教育委員長は教育長に統合され廃止。)

氏 名	在任期間	備 考
日暮 茂男	平成11.10.1～平成27.9.30	委員長(H23.7.1～H27.9.30)
筒井 由美	平成22.6.18～平成29.9.30	
小西 克典	平成23.7.1～令和4.3.31	
青木 健治	平成23.7.1～現在	委員長(H27.10.1～H28.10.4) 教育長職務代理者(H28.10.18～現在)
伊藤 淳	平成27.10.1～平成31.3.15	
沼本 綾	平成29.10.1～現在	
松尾 敦史	令和1.7.1～現在	
三浦 実希	令和4.4.1～令和5.4.3	
林 里美	令和5.6.1～現在	

13.監査委員

氏 名	在任期間	備 考
金子 幸保	平成25.1.30～令和3.1.29	代表監査委員
渡邊 敏昭	平成23.5.10～平成27.4.30	
鶴野 範之	平成27.5.8～平成31.4.30	
高田 勲	令和1.5.8～令和5.4.30	
中村 保夫	令和3.1.30～令和7.1.29	代表監査委員
長野 時敏	令和5.5.8～現在	
高田 勲	令和7.1.30～現在	代表監査委員

14.公平委員会委員

氏 名	在任期間	備 考
斉藤 義夫	平成15.10.1～平成27.9.30	委員長(平成20.12.1～平成27.9.30)
大三島 茂	平成19.3.16～令和2.3.26	委員長(平成27.12.25～令和2.3.26)
田島 博幸	平成20.9.12～現在	委員長(令和12.12.24～現在)
須網 一弘	平成27.10.1～令和5.9.30	
堀 達人	令和2.3.27～現在	
栗中 一弘	令和5.10.1～現在	

15.固定資産評価審査委員

氏 名	在任期間	備 考
横山 佳幸	平成21.12.25～平成27.12.24	
大西 晴彦	平成21.12.25～令和6.12.24	
鶴野 育雄	平成25.3.25～現在	委員長(平成25.3～現在)
生田 忠幸	平成28.3.17～現在	
澤田 彰	令和6.12.25～現在	

16.選挙管理委員

氏 名	在任期間	備 考
野上 愠	平成20.6.29～平成28.6.28	委員長(平成20.6.29～平成28.6.28)
中澤 弘幸	平成20.6.29～平成28.6.28	
鎌田 真滋	平成20.6.29～平成28.6.28	
渡辺 清	平成20.6.29～平成28.6.28	
堀 裕昭	平成28.6.29～令和6.6.28	委員長(平成28.6.29～令和6.6.28)
辻 廣治	平成28.6.29～平成30.9.30	
谷水 敏和	平成28.6.29～現在	
杉森 司	平成28.6.29～令和6.6.28	
越智 聡	平成30.10.1～令和6.6.28	
生沼 篤司	令和6.6.29～現在	委員長(令和6.6.29～現在)
宮脇 英樹	令和6.6.29～現在	
林 哲也	令和6.6.29～現在	

17.各種大使

大使名	氏 名	委嘱日
沼田町観光大使	川中 美幸氏	平成11年 8月17日
沼田町観光大使	遠野 凧子氏	平成11年11月11日
沼田町ふるさと大使	細坪 基佳氏	平成24年 8月11日
沼田町雪中米大使	みのや雅彦氏	令和 2年 4月 1日
沼田町完熟トマト大使	斎藤真由美氏	令和 2年 4月 1日